

第2回日本語教育の振興に関するステアリング・コミッティーの開催

平成30年6月15日

6月15日、インド外務省にて、第2回日本語教育の振興に関するステアリング・コミッティーが開催され、日本側より平松賢司駐インド日本国大使をはじめとする日本大使館関係者および国際交流基金ニューデリー日本文化センター関係者が、インド側よりゴーカレ外務次官をはじめとする外務省および関係省庁関係者が出席しました。

冒頭、インド側共同議長を勤めるゴーカレ外務次官より、3月の第1回会合以来の関係者間による調整により、「日本語教師育成センター」をJNUの人材育成センター（HRDC）内に設置し、コースの開講に向けた準備が整いつつあることを多とすると共に、今後更にどう進めていくかについて議論したい旨話がありました。日本側共同議長の平松大使よりは、日本から着任した日本語教師育成センターの日本語専門家を紹介し、7月23日に同センターの最初のコースが開講することを歓迎するとともに、今後は他のコースの開講準備、日本語コースを設ける100の高等教育機関の特定等を急ぐ必要があることを述べました。

今次会合では、日本語教師育成センターの最初のコースである「新規育成コースA（360時間）」が7月23日に開講することが正式に決定されました。そのほか、100の高等教育機関の特定を含む論点の今後の取り進め方について有意義な議論が行われました。